

イベント等の取組を報道機関の情報発信でより効果的に周知

「農業女子プロジェクト」の一環として地域活動の活性化を図るため、大阪府拠点の主催により「大阪府女性農業者交流会」を開催。講師等の選定、参加者の募集及び取組内容のPR方法について、企画段階から、本局及び地方公共団体（大阪府）に協力依頼・情報共有するとともにプレスリリースを実施

○ 施策分類

女性

○ きっかけ・背景、課題の把握

- ・大阪府内の農業女子プロジェクトの農業者から大阪府内の女性農業者同士の交流を望む声や、オンライン参加が可能な女性の交流会に参加したいとの声を聞いていたことから、初めて大阪府拠点主催の交流会を開催することとした。

○ 取組の内容

- ・大阪府環境農林水産部農政室推進課と、女性農業者への支援や取組について意見交換を実施。交流会の周知等への協力とオブザーバー参加を依頼。
- ・大阪の農業と女性の関わりを研究されている摂南大学の准教授に講師を依頼。企画アイデアや交流会プログラムのアドバイスを受けた。
- ・交流会開催のプレスリリースを実施。当日、報道関係者（3社）による取材を受けるとともに、後日、日本農業新聞及び日本食糧新聞に交流会の詳細な記事が掲載された。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・交流会後も参加者同士の交流が続いているとのことから、交流会の開催は女性農業者がつながるきっかけになったと思料。今後、女性農業者が自発的に企画する取組への支援を目指すとともに、大阪府と連携した取組を検討していく。
- ・摂南大学の准教授は、農業共済新聞のコラムを担当しており、交流会の様子と女性農業者や農業の発展の可能性を情報発信された。新聞社2社の記事掲載等も含め、外部からの情報発信の効果は大きく、女性農業者に対する側面からの支援になった。



集合写真



報道関係者 他

体制図

